

島根県雲南市で確認されたノコギリクワガタの雌雄モザイク個体の記録

皆木 宏 明*

A Record of Gynandromorphic Stag Beetle *Prosopocoilus inclinatus* Found in Unnan City, Shimane Prefecture

Kohmei Minagi*

Keywords : gynandromorph, *Prosopocoilus inclinatus*, Unnan City

キーワード : 雌雄モザイク, ノコギリクワガタ, 雲南市

1. はじめに

島根県内での野生個体の雌雄モザイククワガタの発見例は非常に稀で、過去には2010年8月4日に島根県隠岐の島町那久路の山中において、当時小学生の2名が発見した雌雄モザイクのヒラタクワガタ *Dorcus titanus* の1個体（「右側「雄」V S 左側「雌」モザイククワガタ隠岐で発見」. 山陰中央新報, 2010年8月6日山陰26面掲載）が知られているのみである。掲載記事によると、この個体は体長約55mm、右側がオス、左側がメスの特徴を有していた。

今回、クワガタムシで県内2例目となる、ノコギリクワガタの雌雄モザイク個体が確認されたので報告する（図1）。



図1 確認された雌雄モザイクのノコギリクワガタ

2. 個体の概要

確認された場所及び個体の概要は下記のとおりである。

ノコギリクワガタ雌雄モザイク個体 1ex.

Prosopocoilus inclinatus inclinatus (Motschulsky)

確認日：2025年7月14日

確認場所：島根県雲南市木次町里方

発見者：加藤悠太

発見場所は島根県雲南市木次町里方にある発見者の職場敷地内で、2025年7月14日午前10時頃に地面を歩行していた生体を発見し、採集したとのことだった。この場所は夜間外灯が点灯しており雑木林も隣接していることから、クワガタムシ類などの夜行性の昆虫類が明かりに飛来することがあるという。そのため、本個体も夜間に周辺から飛来したものと思われた。

確認したノコギリクワガタは、外部形態が右側がオス、左側がメスの特徴を持つ個体で、大アゴを含めた体長がオス部分で43mm、メス部分で33mmであった。全身の外部形態を詳しく観察すると、ほぼ左右均等に右側がオス、左側がメスの形状を有していたが、胸部から頭部の大アゴ側に向けては、オスの形態的特徴を有する範囲がやや広くなり、頭部では中央に位置する頭循環までがオスの形状を有していた（図2）。

なお、今回発見されたクワガタは発見者が採集し

* 島根県立三瓶自然館, 〒694-0003 島根県大田市三瓶町多根 1121-8

The Shimane Nature Museum of Mt. Sanbe (Sahimel), 1121-8 Tane, Sanbe-cho, Ohda, Shimane 694-0003, Japan

ばらく飼育した後、鳥根県立三瓶自然館が譲り受け、同年8月7日から死亡する10月3日まで当館で生体展



図2 頭部側の拡大画像

示を行った。生存中は正常個体と変わらず昆虫ゼリーをよく食べ、日中は物陰に潜みほぼ動くことはなく、夜間は飛翔も伴いながら活発に活動していた。死亡後は標本化し、鳥根県立三瓶自然館で収蔵している。

謝 辞

本記録の発表にあたり、発見者の加藤悠太氏には発見個体の情報提供及び個体の当館への寄贈、本研究報告への掲載を快諾いただいた。この場を借りて深謝致します。